



「月がとっても青いから」を熱唱



佐々木愛子さん 村上恵美子さん 土佐和博さん

### 菅原都々子さん 「月がとっても青いから」全国カラオケコンクール

10月21日に十和田湖公民館で開催されたカラオケコンクールに約1,000人の市民が集まりました。コンクールには119人が参加し、テープ審査を通過した78人が3部門に分かれて、自慢の歌唱力を競い合いました。各部門の第1位は次の通りです。

- ▶「月がとっても青いから」部門 村上恵美子さん（おいらせ町）
- ▶「課題曲」部門 佐々木愛子さん（八戸市）
- ▶「自由曲」部門 土佐和博さん（八戸市）

ATV青森テレビの特別番組が放送されます

番組名 第1回「月がとっても青いから」全国カラオケコンクール

放送日時 12月22日(土) 午後3時～3時54分

問い合わせ先 ATV青森テレビ(株)十和田支局(☎019121)



広報担当がどこでも取材に行きます！  
あなたの笑顔を逃しません！  
まちの話題やイベントを紹介するこのページの名は…  
**Town Hot News**

## まちのほっとニュース

総務課 文書広報係 ☎ 5111 内線 156

### 「ヒヒーン」馬の鳴き声もいろいろ

9月23日馬事公苑野外ステージで、17人の子どもたちが「馬の鳴き声コンテスト」に挑戦。大勢の市民が見守る中、思い思いの馬の鳴き声を披露しました。交流館では、十和田マジッククラブによる楽しいマジックショーが行われ、親子連れの観客の目をくぎ付けにしていました。



### スポレクあおもり2007 見事優勝！

9月23日から25日まで開催された壮年サッカーの部で見事優勝した選手たちが市長報告に訪れ、市長の祝福を受けました。

本市ではバウンドテニスとパークゴルフの2種目が行われ、スポーツによる交流で「熱くなり、輪になった」楽しいひとときを過ごしました。



### 未来に伝えよう 山・川・海の水のつながり

9月30日馬事公苑で「山・川・海の感謝祭」が開かれました。式典では南部深持神楽保存会により、豊穰を司るといわれる「山ノ神」舞が披露され、会場を湧かせました。その後、県道脇に約200本の記念植樹を行いました。また、木工教室や魚のつかみ取りが行われ、思い出多い一日となりました。



### 子どものまつり

10月14日市民文化センター敷地内で「十和田市子どものまつり」が開催されました。北里大学の学生によるチャ・リーディングや弓道体験、交響楽演奏、ジャグリング、絵本の会しゃべり場による読み聞かせなどの催しが行われ、多くの家族連れでにぎわいました。



11 北里大学チャ・リーディング部「AMUSE」の皆さん

### 奥入瀬渓流を世界遺産に

10月20日、市民文化センターで特定非営利活動法人「十和田奥入瀬郷づくり大学」(理事長：渡部毅)主催のフォーラムが開催され、約300人の市民が参加しました。本市出身の写真家和田光弘さんが基調講演を行い、続いて4人のパネラーが奥入瀬川や渓流の魅力について話し合い、参加者は後世に残すべき、かけがえのない貴重な財産であるとの認識を深めました。



### 「たくさん釣れた」と大喜び

10月20日、御幸橋から後藤川合流地点までの約4kmの川辺に集まったさけ釣り調査員は約50人。親子連れが目立ちましたが、さけの強い引きに負けないように踏ん張っていました。

このさけ釣りは12月9日までの51日間行われます。



### まさかの事態に備えて

10月16日大幌内牧場で、秋山遭難救助訓練が行われました。警察、消防署、市職員関係者など計61人が訓練に参加。

捜索隊編成による仮想遭難者の捜索、救助・搬送訓練、遭難者発見時の救急法などを実施し、いざというときのための横の連携を確かめました。



### 幼年消防クラブ防火パレード

10月15日火災予防運動の一環として、市内幼年消防クラブ員(市内保育園・幼稚園)と1日消防長・次長・署長による防火パレードが行われました。クラブ員たちは駒街道を「火の用心の歌」を大合唱しながら、拍子木をたたいて元気よく行進しました。



### 約1,000人のランナー健脚を競う

10月7日市陸上競技場と官庁街通りをメインとして「とわだ駒街道マラソン大会」が行われました。今年は天候にも恵まれ、多くの市民が参加。選手たちは思い思いのペースで駒街道を駆け抜けました。2kmジョギングの部には、着ぐるみに身を包んだ親子連れが参加し、沿道の市民の声援を受けていました。

